キャラクター名: 日ノ宮とまり

プレイヤー名:

シンドローム	サラマンダー / サラマンダー	ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	
オプショナル		年齢	19(誕生日:5月)	性別	女
覚醒	死	衝動	飢餓	初期侵食率	32 %
出自	名家の生まれ	経験	被害者(一般社会)	邂逅	主人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	4	0	0			4
感覚	0	0	1			1
精神	2	1	2			5
社会	2	0	0			2

HP	33
行動値	7
(非装備時)	7
戦闘移動	12
全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	4		交渉		
回避			知覚			意志	2		調達	2	
運転：			芸術：			知識：	2		情報 :UGN コネありのためダイス+2個	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
(~59%)	ＲＣ	8r+4	10	9		装甲無視攻撃。焦熱の弾丸＋灼熱の砦＋結合粉砕＋コンセ
(60~79%)	ＲＣ	9r+4				
(80~99%)	ＲＣ	10r+4				
(100~129%)	ＲＣ	12r+4	14	23		装甲無視攻撃。プラズマカノン＋焦熱の弾丸＋灼熱の砦＋結合粉砕＋コンセ

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
レザージャケット	4	2			

合計装甲： 2　合計回避： 0

所持品	
コネ:UGN幹部	

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
喚呼鳥-白波竜田	P 庇護	N 憐憫		
白紙の報告書	P 執着	N 恐怖		
霧谷雄吾	P 尊敬	N 脅威		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8　残り財産P： 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
コンセントレイト：サラマンダー	3	2						
効果：								
結合粉砕	3	4	メジャー	ー	ー	対決	ピュア	
効果：組み合わせた判定ダイス＋LV。装甲無視								
焦熱の弾丸	1	1	メジャー	視界	ー	対決	ー	
効果：攻撃力:＋［LV＋2］の射撃攻撃								
プラズマカノン	1	4	メジャー	視界	単体	対決	100%	
効果：攻撃力:＋［LV×5］の射撃攻撃								
灼熱の砦	2	3	メジャー	ー	ー	対決	ー	
効果：攻撃力:＋［LV×3］								
フェニックスの翼	2							
効果：								
熱感知知覚	★							
効果：								
不燃体	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

熱い赤い部屋の中。近くには両親が家具に潰されている。幼いながらも一眼見ればわかる。死んでいる。優しそうな笑みを浮かべていた顔は消え、苦痛を浮かべるのみだった。幸い、少女は家具に潰されることはなかった。潰されそうな彼女を庇って両親は家具の下敷きとなったのだから。しかし少女一人では到底逃げられるような状況ではなかった。炎が周囲を囲み、部屋には煙が充満している。少女は死にたくなかった。死にたくなくとも生き残るための術が彼女にはなかった。そして彼女は死んだ。

名家の出。長い間、子供に恵まれなかった両親は生まれた娘をたいそう可愛がった。それと同時に家を継ぐものとしての教育を施していた。
しかし、そんな生活は火事一つで大きく変わってしまった。炎と煙に巻かれ彼女は一度死に、オーヴァードとして蘇生した。皮肉にも彼女を殺した炎を操れるようになって。

その後大火事の中、火傷一つ負わず救出された奇妙な少女をUGNが引き取ることとなった。
霧谷雄吾と少女はその時に出会った。オーヴァードとなった少女に霧谷は丁寧に説明した。オーヴァードとのこと、レネゲイドのこと。両親を亡くしたばかりの少女にする話ではない事は言うまでもない。それでも、その対応に「真面目な人なのだろう。ちゃんとした大人なのだろう」と漠然とそう感じ、信頼を少しずつ寄せるようになった。その信頼は一緒に仕事をするようになった他UGNエージェントにも向いている。UGNの理念が全くの正義とは言い切れないけれど、この組織の理念を信じたいという気持ちから忠誠を誓っている。

コードネームは火事で炎に巻かれ一度死んだのち、オーヴァードとして復活したため。
「キュマイラじゃないのに鳥のコードネームを名乗っていいのかしらね…」
しかし、支部内ではコードネームより固定砲台のほうがしっくりくると言われている。

彼女にとって炎とは自身を焼き尽くす大きなもの。故に、彼女はマッチほどのサイズの火を作ることが出来ない。
彼女自身の境遇により、炎のイメージが固定化され、小さな炎を生み出せないのではないか